

「政治判断」で再稼働押しつけるな

「原発ゼロ体験」恐れる原子カムラ

野田政権は4月6日、**「原発再稼働の判断条件となる安全対策の暫定基準を決めるや否や、13日には、大飯原発3、4号機について、この基準に基づき安全性と必要性が確認された」と判断し、枝野経産相が14日、福井県入りし再稼働を要請しました。**マスコミではいつものまにか新しい「安全基準」として扱われており、異様な速さで既成事実が進んでいます。そもそも福島第一原発事故の原因すら解明され

ていません。なぜ安全と全対策は白か黒かの問題ではなく、対策に終わりはなく、枝野は「ない」という枝野経産相流の一見もつともらしい言い方は、判断の原則がなく体系的な説明もできない現状を、ごまかしているにすぎません。

政府や電力会社は、「原発ゼロ」でも社会が支障なく動いていくことを何としても国民に体験させたくないのです。再稼働反対の声を強めましょう。



↑呼びかけ人の鎌田慧さん、落合恵子さんらを先頭に都心をパレード（3月24日）。

安全神話への後戻りを許さない

社民党



↑東京電力本店前へと進むパレードに加わって歩く社民党の福島党首（左端）。